

北海道などから 福島相馬に支援

北海道教区上川南組（江尻法誠組長）は先頃、福島県相馬市内で2日間にわたり炊き出しを行い、700食分

のカレーとちゃんちゃん焼きを振る舞った。

「相馬のお念仏の灯

火が消えてはならない」と、江尻組長と若手僧侶らが5月に同市を訪れ活動。その時に知り合った地元の支援団体などの協力を得て今回炊き出しを行った。組内外の寺院や門徒からカボチャやジャガイモなどが届けられた。江尻組長は「相馬組のために何度でも足を運んで支援を続けた」と話していた。また、岐阜県富加町

・光宗寺の門徒15人が10月10日、南相馬市と相馬市の本派寺院を訪れ、仮設住宅用に準備した米や野菜、毛布など生活物資を届けた。物資は同寺門徒や岐阜教区黒野組の多くの寺院から寄せられた。

訂正 10月20日号8面の松

本真紀さんの記事で「同市・蓮生寺門徒」とあるのは「南島原市・蓮正寺門徒」の誤りでした。お詫びして訂正します。